

※在宅当番医は変更が多々ありますので、当日の新聞（筑豊版）でご確認ください。

【総合体育館開催】★ウォーキング教室（9:30～11:00）★健康体操教室（14:00～15:30）

## 12月 ★歯科当番医の受付は9:00～13:00

- 1 (日)** 【当番医】 青山医院  
☎ 22・6328（飯塚市高田）  
ふくおか県民文化祭 2013  
12:30～ 住民センター

---

- 3 (火)** ★ウォーキング教室

---

- 5 (木)** 母子健康手帳発行とお話  
10:30～11:30 総合福祉センター  
★健康体操教室

---

- 8 (日)** 当番医なし  
特定健診（集団）  
9:00～10:30（受付） 総合福祉センター  
※要予約（保険環境課 ☎ 65・1097）

---

- 10 (火)** 健康相談  
13:30～14:30 総合福祉センター  
★ウォーキング教室

---

- 11 (水)** わんぱく教室（あそび）  
10:30～11:30 総合福祉センター  
業者による補聴器定期相談  
13:00～14:00 総合福祉センター

---

- 12 (木)** 心配ごと相談  
13:00～16:00 総合福祉センター  
★健康体操教室

---

- 15 (日)** 【当番医】 麻生耳鼻咽喉科医院  
☎ 28・1122（飯塚市堀池）

---

- 16 (月)** ピヨピヨ教室  
10:30～11:30 総合福祉センター

---

- 17 (火)** ★ウォーキング教室

---

- 19 (木)** ★健康体操教室

- 21 (土)** ふるさと講座「皇帝陛下と日本国王㊀」  
講師：貝嶋 亮三氏  
13:30～15:30 コタイム王塚

---

- 22 (日)** 【当番医】 諫山医院  
☎ 65・0039（桂川町豆田）

---

- 23 (月)** ◆天皇誕生日  
【当番医】 穂波整形外科医院  
☎ 25・0066（飯塚市太郎丸）

---

- 26 (木)** 乳児健診（受付は対象月齢によって異なります）  
総合福祉センター  
ブックスタート・フォローアップブック  
スタート（町立図書館主催事業）  
上記乳児健診時に読み聞かせし、絵本2冊を配布  
心配ごと相談  
13:00～16:00 総合福祉センター  
★健康体操教室

---

- 29 (日)** 【当番医】 田中医院  
☎ 22・1850（飯塚市天道）

---

- 30 (月)** 【歯科当番医】 洲上歯科医院  
☎ 22・0647（飯塚市片島）

---

- 31 (火)** 【当番医】 三宅脳神経外科病院  
☎ 25・5050（飯塚市楽市）  
【歯科当番医】 ぶんの歯科医院  
☎ 72・2235（飯塚市平塚）

## 1月

- 1 (水)** ◆元日  
【当番医】 徳永眼科医院  
☎ 25・0011（飯塚市楽市）  
【歯科当番医】 ひぐちファミリー歯科  
☎ 22・1281（飯塚市幸袋）

---

- 2 (木)** 【当番医】 石田病院  
☎ 62・2788（桂川町土師）  
【歯科当番医】 丸林歯科医院  
☎ 23・9642（飯塚市花瀬）

---

- 3 (金)** 【当番医】 青山医院  
☎ 22・6328（飯塚市高田）  
【歯科当番医】 みかも歯科医院  
☎ 82・4682（飯塚市有位）

---

- 5 (日)** 【当番医】 麻生耳鼻咽喉科医院  
☎ 28・1122（飯塚市堀池）

---

- 7 (火)** ★ウォーキング教室

---

- 8 (水)** 業者による補聴器定期相談  
13:00～14:00 総合福祉センター

---

- 9 (木)** 心配ごと相談  
13:00～16:00 総合福祉センター  
★健康体操教室

---

- 12 (日)** 【当番医】 松口循環器科・内科  
☎ 26・0800（飯塚市楽市）  
桂川町消防出初式・連合出初式  
7:00～（予定） 桂川小学校運動場  
桂川町成人式  
12:30～（受付） 住民センター

**農産物直売所 けいせん とれたて村**  
お弁当・惣菜 販売中！

【と き】 毎週日曜日 9時～12時  
【と ころ】 けいせん とれたて村販売所  
【問合先】 産業振興課 ☎ 65-1106

※「ゆうパック」を始めました。米や野菜などを送ることができます。



▽消防団と消防ポンプ自動車 11月17日、あいにくの雨天の中でしたが、桂川町消防団の4分団本部に、新型消防ポンプ自動車を配車する式典を行いました。これまで使用してきた消防ポンプ自動車は、昭和57年に購入したもので、すでに30年以上が経過。このため、放水に必要な操作が複雑で、水圧等の調整にも時間と手間が掛かりました。また、車内の空調つまり冷暖房の設備はなく、車窓も手動開閉で、担当団員は大変だったろうと思います。

消防団の使命は住民の生命・身体・財産を守ることにあり、消防自動車は火災や災害等に対して迅速・的確に対応するための必需装備であります。

こうした状況の中、ある新聞の社説に消防団員の不足について掲載されていきました。全国規模で百万人必要ですが87万4千人まで減少し、減少傾向に歯止めがかからず、地域防災体制が揺らぎかねないと懸念しています。そのため、婦人消防隊や学生の入団、企業職員の参加しやすい環境づくりを進めていくべきだと記してありました。

本町の消防団員の定数は210人でほぼ充足していますが、傾向としては同じようなことが懸念されます。備えを怠ることなく、安全で安心して暮らせる町づくりを推進するために、更なる努力が必要だと考えています。

桂川町長 井上利一



\* 町長室から \*